



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 株式会社ヤマザキ 上場取引所 東
コード番号 6147 URL <https://www.yamazaki-iron.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山崎 好和
執行役員
問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員 (氏名) 今場 浩和 TEL 053-434-3011
総務部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,145	△13.2	△111	—	△94	—	△102	—
2023年3月期第2四半期	1,319	9.6	△107	—	△95	—	△100	—

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △51百万円 (—%) 2023年3月期第2四半期 △27百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△23.07	—
2023年3月期第2四半期	△22.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	3,532	1,333	37.7
2023年3月期	4,186	1,428	34.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 1,333百万円 2023年3月期 1,428百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,890	8.9	30	—	25	—	90	—	20.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	4,579,000株	2023年3月期	4,579,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	141,749株	2023年3月期	141,749株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	4,437,251株	2023年3月期2Q	4,437,251株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、経済活動の回復が期待されているものの、エネルギーコストの上昇や原材料価格の高騰及び急激な円安の進行等、先行きの不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループの当第2四半期連結累計期間における売上高は11億4千5百万円（前年同期比13.2%減）となりました。利益面につきましては、営業損失1億1千1百万円（前年同期は営業損失1億7百万円）、経常損失9千4百万円（前年同期は経常損失9千5百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億2百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は、35億3千2百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億5千4百万円の減少となりました。

流動資産は、17億9千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億8千7百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が増加したものの、現金及び預金、電子記録債権が減少したこと等によるものです。

固定資産は、17億3千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して3千3百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券が増加したこと等によるものです。

(負債)

流動負債は、16億4千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して5億6千6百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金が減少したこと等によるものです。

固定負債は、5億5千1百万円となり、前連結会計年度末と比較して8百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金が増加したものの、その他の固定負債が増加したこと等によるものです。

(純資産)

純資産合計は、13億3千3百万円となり、前連結会計年度末と比較して9千5百万円の減少となりました。これは主に、資本剰余金及び利益剰余金が減少したことによるものです。

自己資本比率は、前連結会計年度末の34.1%から37.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年10月27日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,416,981	937,514
受取手形及び売掛金	286,054	332,499
電子記録債権	364,203	162,878
製品	35,598	34,829
仕掛品	244,065	173,626
原材料及び貯蔵品	105,765	116,046
その他	32,295	39,959
流動資産合計	2,484,964	1,797,354
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	231,023	213,766
土地	779,910	779,910
その他(純額)	324,454	361,418
有形固定資産合計	1,335,388	1,355,095
無形固定資産	41,309	36,106
投資その他の資産		
投資有価証券	240,381	267,018
その他	100,444	92,886
貸倒引当金	△16,268	△16,268
投資その他の資産合計	324,557	343,636
固定資産合計	1,701,254	1,734,838
資産合計	4,186,219	3,532,192
負債の部		
流動負債		
買掛金	123,442	116,290
短期借入金	1,868,337	1,371,671
リース債務	—	906
未払法人税等	14,287	10,092
賞与引当金	45,260	44,498
受注損失引当金	62,079	2,737
その他	100,337	101,060
流動負債合計	2,213,745	1,647,257
固定負債		
長期借入金	299,984	288,315
リース債務	—	3,400
退職給付に係る負債	156,458	160,369
長期末払金	21,623	21,623
その他	65,680	78,062
固定負債合計	543,745	551,770
負債合計	2,757,491	2,199,027

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	972,195	972,195
資本剰余金	283,859	239,487
利益剰余金	199,908	97,534
自己株式	△85,053	△85,053
株主資本合計	1,370,910	1,224,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,581	89,264
為替換算調整勘定	△12,763	19,735
その他の包括利益累計額合計	57,818	109,000
純資産合計	1,428,728	1,333,164
負債純資産合計	4,186,219	3,532,192

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,319,295	1,145,212
売上原価	1,091,797	983,828
売上総利益	227,497	161,384
販売費及び一般管理費	334,536	272,608
営業損失(△)	△107,038	△111,223
営業外収益		
受取利息	5,588	9,358
受取配当金	2,996	1,228
為替差益	741	11,875
その他	8,680	2,051
営業外収益合計	18,006	24,514
営業外費用		
支払利息	6,528	7,590
その他	351	133
営業外費用合計	6,880	7,724
経常損失(△)	△95,912	△94,434
特別利益		
固定資産売却益	—	329
投資有価証券売却益	10,630	—
特別利益合計	10,630	329
特別損失		
固定資産除却損	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△85,298	△94,104
法人税、住民税及び事業税	12,586	6,375
法人税等調整額	2,789	1,893
法人税等合計	15,376	8,269
四半期純損失(△)	△100,674	△102,373
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△100,674	△102,373

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純損失(△)	△100,674	△102,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,997	18,683
為替換算調整勘定	93,216	32,499
その他の包括利益合計	73,218	51,182
四半期包括利益	△27,456	△51,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△27,456	△51,191

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△85,298	△94,104
減価償却費	67,456	71,742
賞与引当金の増減額(△は減少)	△896	△1,388
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△36,286	△59,341
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△21,188	3,639
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,400	—
受取利息及び受取配当金	△8,584	△10,587
支払利息	6,528	7,590
為替差損益(△は益)	195	△12,875
固定資産売却損益(△は益)	—	△329
固定資産除却損	16	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△10,630	—
売上債権の増減額(△は増加)	465,985	162,070
棚卸資産の増減額(△は増加)	68,122	67,570
その他の資産の増減額(△は増加)	145	△8,362
仕入債務の増減額(△は減少)	△23,762	△9,922
前受金の増減額(△は減少)	△34,364	△8,051
未払消費税等の増減額(△は減少)	△4,443	△3,886
未収消費税等の増減額(△は増加)	1,434	1,378
その他の負債の増減額(△は減少)	△5,125	12,971
小計	389,703	118,112
利息及び配当金の受取額	8,515	9,258
利息の支払額	△6,426	△7,375
法人税等の支払額	△14,559	△11,205
法人税等の還付額	3,847	1,953
役員退職慰労金の支払額	△8,691	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,388	110,743
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△152,750	△112,515
定期預金の払戻による収入	97,645	155,790
有形固定資産の取得による支出	△58,938	△69,917
無形固定資産の取得による支出	△1,986	—
有形固定資産の売却による収入	—	330
投資有価証券の売却による収入	94,734	—
貸付金の回収による収入	7,800	7,800
保険積立金の積立による支出	△2,566	—
保険積立金の解約による収入	21,825	—
その他	16	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,780	△18,512
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△270,000	△300,000
長期借入金の返済による支出	△15,096	△208,335
配当金の支払額	△44,372	△44,372
リース債務の返済による支出	—	△226
財務活動によるキャッシュ・フロー	△329,468	△552,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,256	1,507
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53,956	△459,195
現金及び現金同等物の期首残高	354,055	847,220
現金及び現金同等物の四半期末残高	408,012	388,024

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社は、2023年10月27日開催の取締役会において、当社が保有する投資有価証券の一部を売却することを決議いたしました。

(1) 投資有価証券売却の理由

コーポレートガバナンスコードに基づく政策保有株式の方針見直しによる売却

(2) 投資有価証券売却の内容

- ①売却株式 : 当社保有の上場有価証券 1 銘柄
- ②投資有価証券売却予定日 : 2023年10月1日～2024年3月31日
- ③投資有価証券売却益 : 8 千万円 (見込)

投資有価証券売却益は、現在の当該有価証券の株価等から算出した見込額であり、変動する場合があります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループでは、主として工作機械事業における個別受注型の業務において新型コロナウイルスの世界的感染拡大等を端緒としたサプライチェーンの混乱等を背景に、顧客の操業及び投資スケジュールが変更となるといった外部要因により、受注の確定や半導体不足による納期遅延、生産稼働率の低下などが生じ、受注損失の発生等により原価率が上昇いたしました。この結果、前連結会計年度までに3期連続の営業損失及び経常損失並びに当期純損失を計上し、当第2四半期連結累計期間においても1億1千1百万円の営業損失を計上しており、本格的な業績回復に至っていないことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループでは、当該事象又は状況の解消に向けて固定費の圧縮等、様々な施策を実行して参ります。

セグメント別では、工作機械事業については、2023年1月以降コロナ禍の終息により、引き合いが増加傾向にあり、受注の増加を見込んでおります。また、初めてインドからも受注する等、さらなる業容の拡大を進めております。一方、輸送用機器事業においては、販売先による生産調整の影響により、当第2四半期連結累計期間においては、前年同期の営業黒字から営業赤字と低調な結果となったものの、下期以降は新たな自動車量産部品の販売増加があり回復する見込みであります。

なお、当第2四半期連結累計期間末において現金及び預金9億3千7百万円を保有しており、主要取引銀行との間での特段の財務制限条項等はなく当座貸越契約による追加の資金調達余力もあることから、事業運営に必要な資金については十分に確保しており、資金繰りに重要な懸念はありません。

以上のことから、現時点で当社グループにおいて、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。